



# 長野松代ライオンズクラブ

かわら版令和二年2月号 2020年2月発行

責任者 会長:神林 隆幸・PR委員長:細川 隆男



ライオンズ文庫贈呈

使用済切手回収



## ライオンズ文庫って！！

長野松代ライオンズクラブの最重要事業である、青少年育成事業の一つにライオンズ文庫があります。町内の1中学と6小学校に、図書購入費の一部補助という意味で、クラブ黎明期より長年にわたり行われている継続事業です。各校では、図書棚の一部をライオンズ文庫と名付け、クラブからの補助金で購入した本を並べてくださっ



ています。本年も昨年12月12日の松代中学を皮切りに、松代小・東条小・寺尾小・西条小・豊栄小・清野小と、順次ライオンズクラブ会員が訪問し、児童総会や委員会の場で、あるいは代表者とお会いして直接補助金をお渡ししています。2月13日の清

野小を最後に、全ての学校にお渡しすることができました。金額的には決して多い額とはいえませんが、シクラメン販売・チャリティゴルフ・ボーリングなどの収益金や会員供出金を元に、他の青少年育成事業(柔道大会・野球大会の開催、ボーイスカウトへの助成な

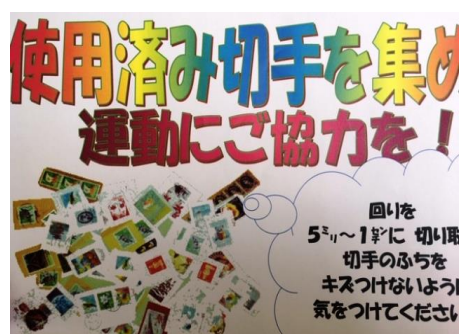
ど)とあわせ、毎年の継続事業として途切らせることなく続けています。最近の子供たちはあまり本を読まなくなったともいわれます。しかし各学校を廻ってみると、決してそんなことはなく、児童・生徒たちは図書室の本を十分に活用していることが解ります。長野松代ライオンズクラブも子供たちの期待を裏切ることのないように、引き続き育成事業を続けていきます。これら事業にご賛同いただける方がいらしたら、クラブまでご連絡いただければ幸甚です。

## 使用済切手回収のその後！！

小中学校様へライオンズ文庫費贈呈に訪問する際に子供たちが、生徒会・児童会を通して集めて下さいました、用済切手を回収してきます。近頃は切手の郵便物が減ってきた中で、封筒に張られている切手を1まい1まい丁寧に切り取り集めて下さいます。ご家庭の中でもご家族の皆さんのお助けがあり、たくさんの使用済切手を回収する事ができました。この切手はクラブ内で集めた切手とともに、整理収集し



「日本キリスト教海外医療協会(JOCS)」へ段ボール詰めにして送ります。集められた切手は、切手収集家・愛好家との間で換金され現金になります。現金はJOCSの海外医療協力のために役立っています。例えば使用済切手 5,000 枚でタンザニアの看護学校の1年分の教科書代です。ウガンダでは 44,000 枚で助産師学校一人の実習費となります。なんだか漠然としていますが、子供たちの心のこもった活動が、世界の恵まれない地域の



皆様のお役に立っています。こんな活動を長野松代ライオンズクラブは1969年より行い、今に至っています。使用済切手回収の応援を引き続き、よろしくお願ひいたします。